

湘南慶育病院 丸山 祥(職種 作業療法士/所属部署 リハビリテーション部 主任)

功 績 作業療法士として自身の学会発表年間で2演題発表するだけでなく、後輩作業療法士の学会発表支援、指導を積極的に行っている。さらに、リハビリテーション部職員が学会発表に取り組みやすくなるシステムとして「リサーチミーティング」を1回/月開催するなど、積極的に活動した功績。

推 薦 者 久保 雅昭(職種 理学療法士/所属部署 リハビリテーション部 部長)

推 薦 理 由 作業療法士として自身の学会発表年間で2演題発表するだけでなく、後輩作業療法士の学会発表支援、指導を積極的に行っています。さらに、リハビリテーション部職員が学会発表に取り組みやすくなるシステムとして「リサーチミーティング」を1回/月開催するように積極的に活動しています。

内 容

作業療法士として開院前10月16日から入職し、作業療法や回復期病棟の運営に取り組みながら、自身の研究に尽力しています。新人教育へも取り組み、さらに研究に興味をわくような問いかけを後輩に行い、作業療法学会で発表するまで教育指導を担当しています。

さらに、2019年度は作業療法部門だけでなく、リハビリテーション部門の職員が研究に取り組みやすいシステムとして、「リサーチミーティング」を月に1回開催して、だれでも研究に関わりやすい環境整備にも取り組んでいます。「リサーチミーティング」では、研究の進捗状況を確認してアドバイスをを行い、今後の実験が進みやすくなります。また、研究に興味はあるけど実際の取り組みまでは行っていない職員も意見交換を聞くだけでも勉強になりますし、研究のすすめ方がわかるようになります。さらには、研究したい題材について傾聴を行い、ぼやけているポイントをはっきりとさせて、研究計画が作成しやすいようにアドバイスをを行います。臨床業務としては、回復期を担当し、臨床業務だけでなく運営についての業務も行っており、業務量が多くなっていますが、不満を言わないので、他の作業療法士の手本となるような姿勢です。